多摩市立貝取小学校のＥＳＤの取組

問題解決的な学習



栽培活動

例えば､4年生は､ゴーヤを育ててグリーンカーテンにしたり地域の施設に配ったりしています。5年生は、地域の方の指導を受けながら、田作り、田植え、もみとり、精米などの稲の栽培活動に取り組んでいます。6年生は、綿を育てて、綿の歴史調べたり、収穫した綿で作品を作ったりしています。

環境委員会の児童は、恵泉女学園大学の「菜園教育プログラム」で指導していただいたことを生かし、パンジーや菜の花などの草花の栽培活動に取り組んでいます。

　栽培活動・愛鳥活動・環境学習を問題解決的な学習として進め、「課題を見つけ、自ら学び・考え・判断し、よりよく問題を解決する資質・能力」や｢協同的に取り組む態度｣を育んでいます。また、今年度は、生活科と理科を切り口として、【課題設定→課題追究(観察・実験)→結果・整理→まとめ】の学習過程の中で、言語活動を充実させ、「考える力」「表現する力」の育成を目指しています。

愛鳥活動

2年生は交通公園での校外学習の際に、多摩川の野鳥を観察する学習を行います。4年生と6年生は、日本野鳥の会の方を講師として、校庭、学校周り、瓜生緑地で野鳥観察を行います。また、愛鳥週間を設け、身近な鳥の特徴や種類に関心をもち、継続的に親しむことができるように愛鳥カルタを掲示したり、昼の放送で愛鳥クイズを行ったりする取組をしています。